

# 世界に発信したい 日本の紋章の文化

白石紋章店の白石幸男さんは紋章上絵師の仕事をしています。紋章上絵師とは染め生地に家紋を描き入れる職人で、紋付に家紋を入れる仕事がよく知られています。

日本の紋章の種類は、数千とも数万とも言われています。植物や動物などの自然から取り入れた紋章が多く、東北なら稲穂、南の方なら貝や蟹などの海産物がよく見られるなど地方ごとに発達しました。上絵師の仕事はグラフィックデザイナーの草分けとも言えます。紋章を通して伝えたい思いや願いを、発想と筆使いで作上げてきたのです。

世界中どこを探しても、一人ひとりが紋章をもっているのは日本だけの文化です。だから白石さんのところには外国人から自分だけの紋章を作って欲しいという依頼がよくあります。込めたい思いを聞いて、それをヒントにデザインすると感動されるそうです。「無駄を削ぎ落とした素朴なデザインが美しくおもしろいので、この紋章の魅力を世界に発信して欲しいですね」と白石さんは語ります。



紋章のデザイン集。洗練されたデザインのなかに人々の思いや願いが込められている

ここがすごい!!

## 一発勝負で直しのきかない仕事です

紋章を手で描くのは集中力の要る緻密な作業です。使う道具は基本的に筆です。円には筆が付いた竹製のコンパスを使い、筆で直線が引けるように溝が付いている定規を使います。微妙な曲線はほとんどがフリーハンドです。道具を巧みに使いこなす技もさることながら、染料や生地・和裁の知識も欠かせません。たくさんさんの経験が必要な仕事です。

「描き直しのできない一発勝負の仕事だから、雑音がなく集中力の高まる夜中に描きます。職人のプライドとして、直しのない仕事をしたい」と白石さんは言います。



お父さんから受け継いだ紋章の型



上絵師の技を支える特別な筆。複数の動物の毛を束ねて作られている



VOICE

## 子どもたちに紋章の おもしろさを知って欲しい

自分だけのオリジナルの紋章を自由に発想して作ってみませんか？

ある中学校の文化祭で、生徒たちが紋章を思い思いに描いたTシャツの展示を見せてもらいました。一生懸命描いてくれた紋章に涙ができました。



上絵師 白石幸男さん

### 白石紋章店

代表者 白石 幸男  
所在地 世田谷区世田谷4-14-31-302  
設立 昭和39年(1964年)  
主な事業 和服(着物)の紋入れ  
家紋額の製作  
連絡先 ☎03-3425-5302

